

厚生労働大臣メッセージ

令和という新たな時代を迎える、今年で73回目を迎える赤い羽根共同募金運動が、本日から始まります。

この運動は、国民の皆様の善意と助け合いの精神によって支えられ、我が国の地域福祉の推進に大きく寄与するだけでなく、災害時のボランティア活動の支援にも役立てられています。

我が国では、少子高齢化、人口減少や地域社会の構造が変化する中で、福祉ニーズがより複雑かつ多様になっています。また、近年、自然災害が甚大な被害をもたらし、被災地に対する支援ニーズも高まっています。地域の住民や多様な主体が支えあい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現に向けた様々な取組を強化してまいります。

日本の募金運動の草分けとして、寄附文化を育み、住民が相互に支え合う地域づくりに貢献してきた赤い羽根共同募金運動が、今後も力強く展開されることを願っております。

本年も、多くの皆様のご支援、ご協力を心からお願ひいたします。

令和元年10月1日

厚生労働大臣

加藤 勝信

厚生労働大臣メッセージ



赤い羽根共同募金